

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 2月 7日

事業所名 カナの家 職員数 14名 回収数 14名 割合100 %

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・園庭は狭いが近隣公園を活用している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・配置人数は適切であっても、支援内容によって足りないと感じることもある。	・よりよい保育をめざし、保育内容に合わせてクラスの配置人数を調整していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価による外部評価を行う仕組みが今の所整っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・行動観察が主になっているので、ツールの見直しを行います。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域支援」はあまり行われておらず、充実させることが今後の課題です。</li> <li>・「家族支援」はクラスにより異なるので、より充実させていきます。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間ごとのプログラムのため、1週間に1回は実施している。</li> <li>またはその日特別なことがあった場合に実施している。</li> </ul>	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間ごとのプログラムの為、週に1回実施している。気づいたことがあれば、その都度話し合うように工夫している。</li> </ul>	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり実施されていないが、実施時は参加し、必要に応じてカンファレンスを行っている。</li> </ul>
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての利用児に行えていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もできるだけ連携を図ります。</li> </ul>
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・盲学校との連携、発達障害者支援センターへの母親教室の講師依頼とまだまだ少ないが、連携する機会を設けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・地域園との併行通園児が多いため、そこを交流の場・活動の場とらえています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・開催時には毎回参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎バス利用児の保護者とは時間的にも難しいので、連絡帳で伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・親子教室ではじまったばかり。野のゆり・こひつじは今後の課題	・単独通園クラスについては方法を検討しています。
	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			
	保 護 者 へ の	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・コロナ感染対策の為、保護者会は開催していない。 ・母親教室では勉強会などを通じて保護者同士が交流できる工夫をしている。	
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			

説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人の行事で実施している。(今年度は感染対策のため中止)	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・現在、該当者はいない。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。